

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	やすらぎホーム金光
日付	平成17年12月13日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴32年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年 特別養護老人ホームでの認知症高齢者介護歴5年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る (評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者同士、お互いに声をかけ合ったり、話を聞いたりしながら、ひとつの家族のように支えあって生活されています。 ・入居者は、自分でできることを自然にされています。他者から必要とされることが、生きがいや、やりがいにつながっているようで、生き生きと生活されています。 ・職員は、やさしく穏やかな対応を心がけており、さりげなく入居者に寄り添うことができています。 ・職員採用時の教育が徹底されています。接遇、緊急時の対応、衛生管理、技術指導など詳細な教育が行なわれ、サービスの質の向上につながっています。 ・入居前には自宅を訪問され、生活の様子や身体状況、嗜好など、細部にわたる豊富な情報を収集されています。それらは、入居後の介護計画や日々の生活に十分に活かされ、個性のある支援につながっています。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・どの記録も、詳しく書かれています。しかし、業務日誌と個人記録の内容に重複する記述がありますので、情報の共有化を妨げない範囲で、簡素化されてははいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者一人ひとりの生活歴を大切に、家庭的な環境のもとで、その人らしく楽しく過ごしていただけるような支援をめざされています。 ・入居者それぞれの持てる力を十分に引き出し、お互いが必要な存在として、支えあって生活できるような対応を心がけておられます。 ・常に笑顔で接し、やさしいトーンでの声かけと傾聴に心がけておられます。 			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	心身機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者それぞれの生活歴を大切に、できる事やしたい事の実現により、その人らしい生活ができるよう支援されています。 ・印刷物に個人の写真を掲載する場合には、本人や家族に確認をされています。 ・居室に入る時には、必ずノックをし、許可をいただいています。室内から鍵を掛けることができ、プライバシーの保護に配慮されています。 ・個人情報の保護に配慮されており、記録類はシュレッダーで処理されています。今後は、介護記録のファイルを収納する際に背表紙の氏名が見えないよう、書類棚の扉をスリ硝子に変更することを検討されています。 			

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周や空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の得意なことを見つけ、それぞれが役割をもって、生きがいを感じるような支援を心掛けておられます。 ・入居者の行動を否定しないやさしい対応を通して、なじみの関係を作り、落ち着いて生活できるよう取り組まれています。 			

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時には、事故報告書を作成し、職員全員で原因を探り、再発を防止するよう心がけておられます。 ・積極的に研修に参加し、職員のレベルアップが図れるような仕組みを作られています。 ・理念に基づいた具体的な目標を掲げ、達成できたら新たな目標を決め、実践するように努力されています。現在は、「辛抱強くやさしい眼差しと観察力を持つ」ことを掲げ、取り組んでおられました。 			